

斐伊川水系の魚類調査

－斐伊川・宍道湖・中海－

川島隆寿・中村幹雄・山根恭道・森脇晋平

建設省の依頼で斐伊川水系の魚類相の調査を行った。その結果は斐伊川編166頁、宍道湖編50頁、中海編67頁にまとめ、一部建設省、一部三刀屋内水面分場に保管されているが、今回はその調査・結果の概要を記す。

調 査 と 方 法

1. 調査時期
- | | | |
|-----|------|-------------------------|
| 斐伊川 | 夏期調査 | 1990年7月22, 28, 30日 |
| | 秋期調査 | 1990年10月16, 17, 18, 30日 |
| 宍道湖 | 夏期調査 | 1990年7月31日 |
| | 秋期調査 | 1990年10月19, 24日, 11月9日 |
| 中海 | 夏期調査 | 1990年8月9, 10, 30日 |
| | 秋期調査 | 1990年10月25, 31日, 11月9日 |

調査地点：調査地点は図1のとおりである。斐伊川18地点、宍道湖4地点、中海6地点。

採集方法：投網による捕獲調査。投網は1地点につき大小の目合のものをそれぞれ最低10回以上打った。

調査項目 ① 天候、気温、水温、水質（既存資料）

② 河道の底質の状況（泥、砂、小石…）

③ 投網仕様、打数

④ 河川の諸元

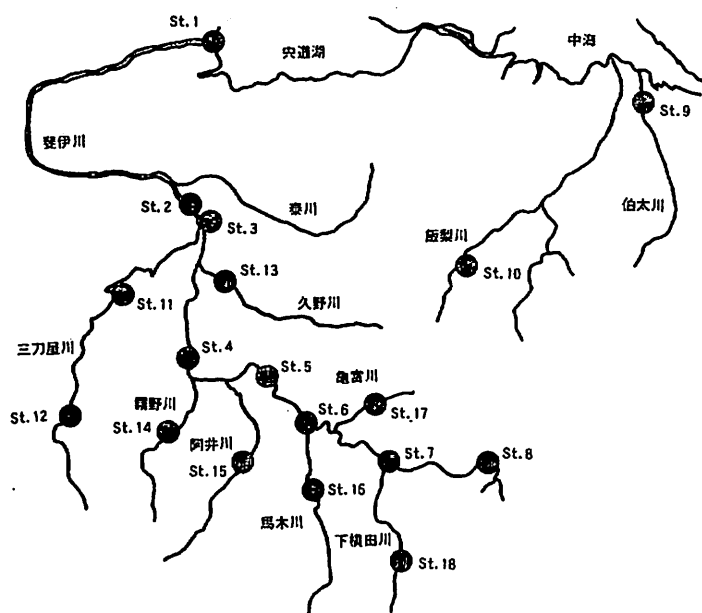
⑤ 魚類捕獲調査……捕獲魚種名、捕獲数、全長（最大、最小）別表1の調査表。

資料整理 ① 捕獲調査の結果を調査地点毎に「魚類調査表」に整理する。

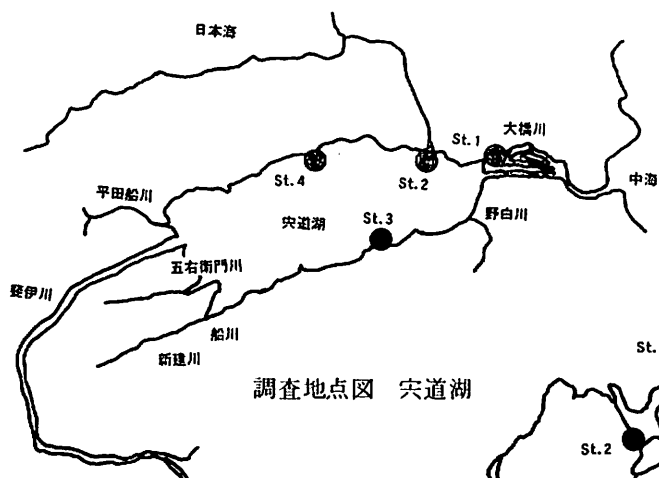
② 魚類水系総括表を作製する。文献記録、聞き取り調査の結果も加える。

また漁獲量、放流量、天然養殖状況についても記す。

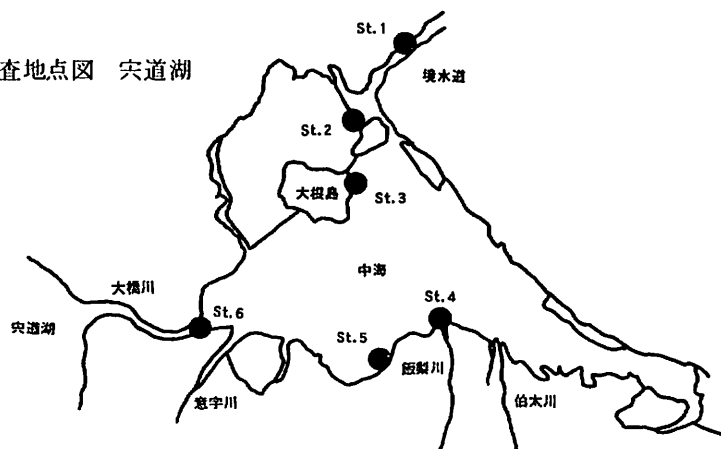
③ 写真票を作製する。河川、周辺状況、捕獲状況の判る写真、捕獲した魚類に関する写真。



調査地点図 斐伊川



調査地点図 突道湖



調査地点図 中海

図1 調査地点

結

果

調査結果の総括表を以下に示した。

斐伊川魚類総括表

魚種名	調査地点番号 河口からの位置	調査地点別魚類相										文献記録欄			漁獲量 t/年	放流量		天然繁殖	備考
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3		卵 千粒/年	稚魚・成魚 千尾/年		
												71	79	87					
カワヤツメ												○							
スナヤツメ												○	○	○				○	
ウナギ	㊦	㊦	㊦									○	○	○	1		119kg		
サケ												○						?	
サクラマス												○							
ヤマメ												○	○	○	0.4		22.5	○	
アマゴ								○	○		○			○				○	
ニジマス												○	○	○				?	
ゴギ												○	○	○	△			○	
アユ		○	○	○	○	○	○					○	○	○	21.2		532.7	○	主要魚種
ワカサギ	㊦												○	○	△			○	
ホンモロコ		㊦	○										○	○				?	
スゴモロコ		○											○	○				○	
モツゴ						○				○								○	
カマツカ		○	㊦	○		㊦				○		○	○	○				○	
ヒガイ		○	○									○	○	○				○	
ウグイ	○	○	㊦	○	○	○	○	㊦	○	○	○	○	○	○	1.6			○	主要魚種
タカハヤ								○	○			○	○	○				○	
カワムツ	○	㊦	○	○	○	○	○	㊦		○		○	○	○	△			○	
オイカワ	○	○	○	○	○	○	○		○			○	○	○	△			○	近年減少
ハス	○	㊦	㊦										○	○				○	
ワタカ														○					
ギンブナ	㊦	○	㊦	㊦		㊦	○		○			○	○	○	0.6			○	
ゲンゴロウブナ													○	○					
コイ		○	㊦	㊦	㊦	㊦	㊦		○			○	○	○	10.8		10	○	主要魚種
タイリクバラタナゴ	㊦												○	○				○	
ヤリタナゴ	○													○				○	
ドジョウ												○		○				○	
シマドジョウ				㊦								○	○	○				○	

斐伊川魚類総括表つづき

魚種名	調査地点番号 河口からの位置	調査地点別魚類相										文献記録欄				漁獲量 t/年	放流量		天然繁殖	備考
		11	12	13	14	15	16	17	18			1	2	3			卵 千粒/年	稚魚・成魚 千尾/年		
												71	79	87						
カワヤツメ												○								
スナヤツメ			⊕									○	○	○					○	
ウナギ		⊕	⊕									○	○	○		1		119kg		
サケ												○							?	
サクラマス												○								
ヤマメ									○			○	○	○		0.4		22.5	○	
アマゴ									○					○					○	
ニジマス												○	○	○					?	
ゴギ									○			○	○	○		△			○	
アユ		⊕	○	⊕	○	○	○					○	○	○		21.2		532.7	○	主要魚種
ワカサギ													○	○		△			○	
ホンモロコ													○	○					?	
スゴモロコ													○	○					○	
モツゴ																			○	
カマツカ		○	⊕	○								○	○	○					○	
ヒガイ												○	○	○					○	
ウグイ		⊕	○	○	○	○	○					○	○	○		1.6			○	主要魚種
タカハヤ			○						○	○		○	○	○					○	
カワムツ		○	○	○	○		○	○				○	○	○		△			○	
オイカワ		○	⊕	○	○	○						○	○	○		△			○	近年減少
ハス													○	○					○	
ワタカ														○						
ギンブナ		○										○	○	○		0.6			○	
ゲンゴロウブナ													○	○						
コイ		⊕	○	⊕	○	○		○				○	○	○		10.8		10	○	主要魚種
タイリクバラタナゴ													○	○					○	
ヤリタナゴ														○					○	
ドジョウ							⊕					○		○					○	
シマドジョウ		○	○	○	○	⊕		○				○	○	○					○	

魚種名	調査地点番号 河口からの位置	調査地点別魚類相										文献記録欄				漁獲量 t/年	放流量		天然繁殖	備考
		11	12	13	14	15	16	17	18			1	2	3			卵 千粒/年	稚魚・成魚 千尾/年		
												71	79	87						
ナマズ	㊟											○	○	○					○	
アカザ			㊟						㊟			○	○	○					○	近年激減
クルマサヨリ													○	○						
メダカ													○	○					○	
カマキリ												○	○	○						} 近年姿を 見ない
カジカ												○	○	○						
スズキ												○	○	○						
ボラ												○								
ドンコ		○	○	○	○	○	㊟	○	○			○	○	○					○	
ゴクラクハゼ																			○	
ヨシノボリ		○	○									○	○	○					○	
カワヨシノボリ			○			○		○				○	○	○					○	
ヌマチチブ														○					○	
<i>Chaenogobius</i> sp.																			○	
ウキゴリ													○	○					○	
マハゼ																			○	
カムルチー													○	○					○	
ブラックバス																			?	
合 計		12	12	10	7	7	5	6	6			38	43	38					33	

魚種名	調査地点番号 河口からの位置	調 査 地 点 別 魚 類 相										文 献 記 録 欄				漁獲量 t/年	放 流 量		天然繁殖	備 考
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	卵 千粒/年		稚魚・成魚 千尾/年			
												71	79	87						
ナ マ ズ		⊕	⊕									○	○	○				○		
ア カ ザ												○	○	○				○	近年激減	
クルメサヨリ	⊕												○	○						
メ ダ カ		⊕	⊕										○	○				○		
カ マ キ リ												○	○	○					} 近年姿を 見ない	
カ ジ カ												○	○	○						
ス ズ キ	⊕											○	○	○						
ボ ラ	○											○								
ド ン コ						○	○		○			○	○	○				○		
ゴクラクハゼ	○																	○		
ヨ シ ノ ボ リ		⊕	○	○					○			○	○	○				○		
カワヨシノボリ					○	○	○	⊕		○		○	○	○				○		
ヌ マ チ チ ブ	○													○				○		
Chaenogobius sp.	○																	○	※このゴクラクハゼ 正式な名はまだつ いていない。	
ウ キ ゴ リ	○												○	○				○		
マ ハ ゼ	○																	○		
カムルチー		⊕	⊕										○	○				○		
ブラックバス	⊕																	?		

中央道湖魚類総括表

S-1

魚種名	調査地点番号 流出部からの位置	調査地点別魚類相								文献記録欄				漁獲量 t/年	放流量		天然繁殖	備考
		1	2	3	4					1	2	3	4		卵 千粒/年	稚魚・成魚 千尾/年		
										62	79	85	87					
カワヤツメ		◎	◎	◎								○	○				○	
アカエイ		◎										○	○					
ウナギ		◎	○	○	◎					○	○	○	○	36		519kg/年	○	
コノシロ		◎	○	○	◎					○	○	○	○	△			○	
サッパ		◎	○	○	◎					○	○	○	○	△			○	
カタクチイワシ		◎										○	○					
ウグイ		◎	◎	○	○					○	○	○	○	29			○	
ソウギョ										○		○	○					近年見ない
オイカワ				◎						○	○	○	○					
カワムツ				◎								○	○					
ハス			◎	◎								○	○				○	
フナ類										○	○							
ギンブナ	○	○	○	○								○	○				○	} 主要魚類
ゲンゴロウブナ		○	○									○	○	244	3900		○	
ワタカ				○	○					○	○	○	○				○	
コイ	◎	◎	○	◎						○	○	○	○	26		50	○	
ヒガイ											○	○						
カマツカ												○	○					
タモロコ												○						
ホンモロコ		○	◎	◎								○	○				?	移入種
スゴモロコ												○	○					
モツゴ				○							○	○	○				○	
タイリクバラタナゴ				◎								○	○				○	
アカヒレタビラ												○	○					
ヤリタナゴ			○	◎								○	○				○	
シマドジョウ												○	○					
ドジョウ												○	○					
チャネルキャットフィッシュ												○	○					移入種
ナマズ			○	○						○	○	○					○	

文献	1	「中海干拓・淡水化事業に伴う魚族生態調査報告」宮地伝三郎 (1962)
	2	第2回自然環境保全基礎調査, 島根県 (1979)
	3	淡水魚「中央道湖とその周辺水域の魚類」越川敏樹 (1985)
	4	第3回自然環境保全基礎調査, 環境庁 (1987)

魚種名	調査地点番号 流出部からの位置	調査地点別魚類相								文献記録欄				漁獲量 t/年	放流量		天然繁殖	備考
		1	2	3	4					1	2	3	4		卵 千粒/年	稚魚・成魚 千尾/年		
										62	79	85	87					
ワカサギ		⊕	○	○	○					○	○	○	○	233	381600		○	主要魚種
アユ		⊕	⊕	⊕						○	○	○	○	△			○	
シラウオ		⊕	⊕	⊕	⊕					○	○	○	○	35			○	主要魚種
サクラマス													○					
サツキマス			⊕										○					
サケ			⊕										○					
クルメサヨリ			⊕	⊕	⊕					○	○	○	○				○	
サヨリ		⊕	⊕	⊕	⊕								○	△			○	
ダツ		⊕	⊕										○					
メダカ					⊕								○				○	
トウゴロウイワシ		⊕											○					
イトヨ		⊕	⊕	⊕	⊕					○	○	○	○				○	
ヨウジウオ		⊕											○					
タツノオトシゴ		⊕											○					
クロソイ													○					
コチ		⊕	⊕	⊕									○					
カマキリ										○			○					
カジカ													○					
スズキ		○	○	○						○	○	○	○	△			○	
ヒラスズキ		⊕											○					
シマイサキ		⊕	⊕										○					
オオクチバス					⊕								○					個体数は少ない。
シロギス		⊕											○					
ヒイラギ		⊕	○	○						○			○				○	
クロダイ		○	⊕										○	△			○	
ヘダイ													○					
ボラ		⊕	⊕	○	○					○	○	○	○	8				
セスジボラ		○	○	⊕	○								○					
メナダ		⊕	⊕	⊕									○					

魚種名	調査地点番号 流出部からの位置	調査地点別魚類相								文献記録欄				漁獲量 t/年	放流量		天然繁殖	備考
		1	2	3	4					1	2	3	4		卵 千粒/年	稚魚・成魚 千尾/年		
										62	79	85	87					
ギンボ		⊕	⊕									○	○					
ドンコ				⊕								○	○					
チチブ		⊕								○	○	○	○				○	
ヌマチチブ			○	○	○							○	○	△			○	
シマハゼ		○	○	○	○							○	○	△			○	
ヨシノボリ				⊕						○	○	○	○				○	
ゴクラクハゼ			⊕	⊕	⊕							○					○	
アシシロハゼ		⊕	⊕	⊕	⊕					○	○	○	○				○	
マハゼ		○	○	○	○						○	○	○	169			○	
スジハゼ		⊕										○	○					
ウロハゼ		○	○	○								○	○				○	
ウキゴリ				⊕	⊕							○	○				○	
ビリンゴ		⊕	⊕									○					○	
ニクハゼ		⊕										○	○					
<i>Chaenogobius</i> sp.		⊕	○	○	⊕							○	○				○	通称は「コハゼ」 正式な名は「コハゼ」 ではない。
スミウキゴリ		⊕										○	○				○	
ミミズハゼ												○						
シロウオ		⊕										○	○				○	
カムルチー				⊕	⊕						○	○	○					
ヒラメ		⊕	⊕									○	○					
クサフグ		⊕	⊕									○	○					
トラフグ													○					
ショウサイフグ												○						
合 計		42	37	35	33					22	23	78	72				37	

中海魚類総括表

N-1

魚種名	調査地点番号 流出部からの位置	調査地点別魚類相										文献記録欄				漁獲量 t/年	放流量		天然繁殖	備考
		1	2	3	4	5	6					1	2	3	4		卵 千粒/年	稚魚・成魚 千尾/年		
												62	79	85	87					
カワヤツメ			⊕		⊕									○	○				○	
アカエイ		⊕		⊕		○						○	○	○	○	5.6			○	
ズグエイ												○								
ツバクロエイ		⊕											○		○					
ウナギ			⊕	⊕	⊕	○	⊕					○	○	○	○	△		20kg	○	
ミミズアナゴ												○								
クロアナゴ												○								
マアナゴ		⊕										○	○		○					
コノシロ		⊕	⊕	○	⊕	○	○					○	○	○	○	△			○	量的に多い
マイワシ		⊕		○		○						○	○	○	○					
サッパ		⊕	⊕	○	⊕	○	⊕					○	○	○	○	△			○	量的に多い
カタクチイワシ		⊕		○		○						○	○	○	○					
フナ類												○	○	○						
ギンブナ						○	⊕								○				?	
ワタカ															○					
コイ						⊕	⊕					○	○	○					?	
ゴンズイ		⊕		⊕		⊕						○	○	○	○				○	
ニギス													○							
ワカサギ		⊕	⊕	⊕	○	○	⊕					○	○	○	○	△			○	重要魚種
アユ		⊕		⊕		⊕						○	○	○	○				○	
シラウオ		⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕					○	○	○	○	△			○	
マエソ		⊕		⊕								○	○	○	○					
トカゲエソ												○	○							
トビウオ												○								
クルマサヨリ					⊕		⊕					○	○	○	○				○	
サヨリ		⊕	⊕	○	⊕	○	⊕					○	○	○	○				○	
ダツ		⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕					○	○	○	○				○	
サマ		⊕		⊕										○						
メダカ							⊕						○	○	○					

魚種名	調査地点番号 流出部からの位置	調査地点別魚類相										文献記録欄				漁獲量 t/年	放流量		天然繁殖	備考
		1	2	3	4	5	6					1	2	3	4		卵 千粒/年	稚魚・成魚 千尾/年		
												62	79	85	87					
トウゴロウイワシ				○		○	⊕					○	○	○	○				○	
ギンイソイワシ												○								
イトヨ	⊕		⊕		⊕							○	○	○	○				○	
ヨウジウオ			⊕	⊕	⊕	⊕						○		○	○				○	
サンゴタツ												○								
タツノオトシゴ	⊕		⊕		⊕	⊕						○	○	○	○				○	
メバル	⊕											○	○							
クロソイ	⊕		○		○									○	○	△			○	
カサゴ	⊕											○								
オニオコゼ												○								
ハオコゼ	○											○	○	○						
ホウボウ	⊕		⊕									○	○	○	○					
メゴチ												○								
コチ			○		○	○						○	○	○		△			○	
クジメ	○											○	○							
アイナメ	○											○								
カマキリ					⊕							○		○	○					
アナハゼ	⊕											○								
アサヒアナハゼ	⊕											○			○					
クサウオ	⊕		⊕											○	○					
スズキ	⊕	⊕	○	⊕	○	○						○	○	○		14.2			○	
ノミノクチ														○	○					
シマイサキ	○		○	⊕	○							○	○	○	○				○	
テンジクダイ	⊕		○		○							○	○	○	○				○	
ネンブツダイ	⊕											○		○	○					
シロギス	⊕		⊕		○							○	○	○	○				○	
マアジ	⊕		○		⊕							○	○	○	○					
ブリ												○	○							
ヒイラギ	⊕	⊕	○	⊕	○	⊕						○	○	○	○	△				

魚種名	調査地点番号 流出部からの位置	調査地点別魚類相										文献記録欄				漁獲量 t/年	放流量		天然繁殖	備考
		1	2	3	4	5	6					1	2	3	4		卵 千粒/年	稚魚・成魚 千尾/年		
												62	79	85	87					
クロサギ												○								
イサキ												○								
チダイ												○	○							
クロダイ		○	○	⊕	⊕	○	○					○	○	○	○	15			○	
マダイ		⊕		⊕								○	○	○	○					
ヘダイ		⊕		⊕									○	○	○					
ヒメジ		⊕										○		○	○					
メジナ		⊕										○	○	○	○					
イシダイ		⊕										○	○		○					
ウミタナゴ		○		○		○						○	○	○	○	△			○	
ボラ		⊕	○	○	⊕	○	○					○	○	○	○	224			○	主要魚種
セスジボラ		○	○	○	⊕	○	○						○	○	○				○	
メナダ		⊕		⊕		⊕							○	○	○				○	
アカカマス		⊕		○		○						○	○	○	○				○	
ヤマトカマス														○	○					
ササノハベラ		⊕										○		○	○					
ダイナンギンボ		⊕		⊕		⊕							○	○	○				○	
ムスジガジ		⊕		⊕										○	○				○	
ギンボ		⊕		○		○						○	○	○	○				○	
カエルウオ		○												○	○					
ナベカ												○	○							
トサカギンボ													○							
ニジギンボ												○								
イソギンボ		⊕											○	○	○					
イカナゴ		⊕		⊕		⊕						○	○							
ヤリヌメリ												○								
ヨメゴチ												○	○	○	○					
トンガリヌメリ												○								
ネズミゴチ				⊕		○						○		○	○					

魚種名	調査地点番号 流出部からの位置	調査地点別魚類相								文献記録欄				漁獲量 t/年	放流量		天然繁殖	備考
		1	2	3	4	5	6			1	2	3	4		卵 千粒/年	稚魚・成魚 千尾/年		
										62	79	85	87					
ハタタテヌメリ										○								
トビヌメリ										○								
チチブ			⊗	⊗	○	⊗				○	○	○	○				○	
シマハゼ		⊗	⊗	○	⊗	⊗	⊗			○	○	○	○				○	
ヒメハゼ											○	○	○					
イトヒキハゼ										○								
アベハゼ												○	○					
アシシロハゼ					⊗	⊗				○		○	○				○	
マハゼ		⊗	○	○	○	○	○			○	○	○	○	△			○	主要魚種
スジハゼ		⊗		⊗						○	○	○	○				○	
チャガラ		⊗								○			○					
キヌバリ										○								
ウロハゼ			○		○	⊗				○	○	○					○	
ウキゴリ										○								
ビリンゴ		○		○	○	○				○	○	○	○	△			○	
ニクハゼ		○	⊗	⊗	⊗	⊗				○		○	○	△			○	
スミウキゴリ					⊗							○	○				○	
ドロメ												○						
アカハゼ										○			○					
ミミズハゼ		⊗								○	○	○	○					
シロウオ			⊗	⊗	⊗	⊗						○					○	
アイゴ		○	○							○	○						○	
タチウオ		⊗								○	○	○	○					
マサバ										○	○							
イボダイ										○								
ハナビラウオ										○								
カムルチー											○		○					
ヒラメ		⊗	⊗	○	⊗	○	⊗			○		○	○	△			○	
ガンゾウヒラメ										○	○							

魚種名	調査地点番号 流出部からの位置	調査地点別魚類相								文献記録欄				漁獲量 t/年	放流量		天然繁殖	備考
		1	2	3	4	5	6			1	2	3	4		卵 千粒/年	稚魚・成魚 千尾/年		
										62	79	85	87					
テンジクガレイ											○							
アラメガレイ										○								
ホシガレイ											○							
メイタガレイ										○								
マコガレイ	㊦		㊦							○	○	○	○	1.8			○	
イシガレイ	㊦		㊦		○					○	○	○	○				○	
シマウシノシタ										○								
カワハギ	㊦									○	○	○	○					
アミメハギ	○		㊦							○		○	○					
ウマヅラハギ											○							
サラサハギ											○							
ハコフグ											○							
サバフグ										○								
クサフグ	㊦		㊦		○					○	○	○	○					
ショウサイフグ												○	○					
マフグ											○							
コモンフグ	㊦		○							○	○		○					
ウグイ				㊦	○	㊦				○	○	○	○	△			○	
ホンベラ	○																	
キュウセン	○																	
合 計		68	17	56	23	51	30			102	79	79	80				47	

斐伊川の魚介類相

斐伊川の魚類については、日本水産資源保護協会（1978）、島根県（1979）、環境庁（1987）の記録が主なものである。

今回の調査で確認した魚種は、聞き取り調査も含めて、15科39種であった。新たに記録されたのは、ゴクラクハゼ、マハゼ、ウキゴリ属の一種 *Chaenogobius* sp.（正式な名はついていない）等の汽水性のハゼ類と、ブラックバスである。これら魚種が確認された地点はいずれも斐伊川と宍道湖との合流点付近（St. 1）であった。ゴクラクハゼ、マハゼ、*Chaenogobius* sp.は宍道湖では普通に見られる魚種であり、斐伊川河口への進入はさほど不思議ではない。その他にも、宍道湖に生息していながら斐伊川での記録がない魚種は数多いので、これらが斐伊川河口で採集される可能性は高いと考えられる。ブラックバスは北アメリカ原産の移入種であるが、島根県内においても着々とその分布域を広げつつある。本種は典型的な魚食性魚であり、有用水産魚類の食害が懸念されるが、現在のところ生息数はさほど多くないようである。

オイカワ、カワムツ、ウグイは下流から上流にかけての広い範囲に生息しており、量的にも多い。アユも中流域に高密度で生息しているが、その大部分は種苗放流によりまかなわれていると思われる。さらに上流ではこれら魚種が姿を消して、タカハヤ、ヤマメ、アマゴが出現する。本来、斐伊川はヤマメ域であったようだが、アマゴの放流により、近年ではヤマメよりもむしろアマゴの個体数が多い。最上流部にはゴギが生息するが、護岸工事や砂防堤の建設などの河川改修によってその生息域が奪われつつあること、また主要な遊漁対象魚種でありながらその資源保護上の対策がとられていないこと等の理由で、資源の減少が心配される。

砂地を好むシマドジョウ、カマツカが多いのも特徴的である。これは、斐伊川に砂が大量に堆積していることと関連が深い。実際、St. 2より下流はほとんどすべて砂底であり、今回調査は実施していないものの、過去の記録では魚類相は貧弱である。中・上流域においても河川形態が淵・トロの場所には砂が堆積している。

カマキリ・カジカは聞き取り調査によっても生息が確認できず、ほとんど全滅したものと思われる。

エビ・カニ・貝類については、過去の記録が全くないためここでは言及できないが、中・上流域ではサワガニ、カワニナ、マシジミが、St. 1付近ではテナガエビ、スジエビ、ヤマトシジミの生息が確認視される。

宍道湖の魚介類相

宍道湖は塩素イオン濃度約1000～3000ppmの汽水湖であるため、生息魚種は淡水魚、汽水魚、海水魚と極めて変化に富んでいる。ことに、海水魚が宍道湖に入ってくる春から秋にかけては様々な

魚種を見ることができる。今回の地調査においても、聞き取り調査も含めて、31科63種を確認した。

宍道湖の魚類については、宮地伝三郎（1962）、島根県（1979）、越川敏樹（1985）、環境庁（1987）の記録が主なものである。この内、越川（1985）は78種、環境庁（1987）は72種の生息魚種を報告しており、今回の調査結果より10種程度多い。しかし、このことは彼らの調査が比較的長期間に渡ったデータを基礎としているためであり、必ずしも生息魚種の減少を意味しているのではないと思われる。

漁業上重要な魚種は、ワカサギ、シラウオ、コイ、フナ（ギンブナ、ゲンゴロウブナ）、スズキ、ウナギ、マハゼなどであり、これらは量的にも多く生息している。その他、ボラ、サッパ、コノシロ、ヌマチチブ、シマハゼなども個体数が多いが、あまり利用されていない。

生物学的に貴重な魚種としては、国内ではほぼ宍道湖だけから確認されているウキゴリ属の一種 *Chaenogobius* sp. や、自然分布の西南限種であるワカサギ、カワヤツメ、イトヨが挙げられる。

エビ、貝類については、宮地伝三郎（1962）、上田常一（1967）、島根県（1979）、環境庁（1987）の記録が主なものである。エビ類については11種の生息が報告されており、特にテナガエビ、スジエビの個体数が多い。貝類については9種の生息が報告されているが、中でもヤマトシジミは量的に多く、漁獲量は年間約1万トンと日本一を誇る。

カニ類については、過去の記録がないが、今回の調査でモクズガニを確認した。

中海の魚介類相

中海の魚類については、宮地伝三郎（1962）、島根県（1979）、越川敏樹（1986）、環境庁（1987）の記録が主なものである。宮地（1962）は57科104種を報告したが、その後、島根県は（1979）50科80種、越川（1985）は48科79種、環境庁（1987）は48科81種を報告したにとどまっている。中でも越川（1985）及び環境庁（1987）の記録は比較的長期間のデータを基礎としたのであり、この中には宮地（1962）以後の種の記載がなされた種も含まれるので、ここで見られる魚種数の減少は、実際に中海から姿を消した魚種を表していると考えることができる。今回の調査で確認した魚種は、聞き取り調査も含めて、52科87種であった。

中海の魚類の特徴は、中海が汽水湖であるために、淡水魚、汽水魚、海水魚が入り混じって生息していることである。同じ様な特徴を持つ宍道湖と比較すると、中海の方が高塩分であるために、海水魚の占める比率が高い。

漁業上重要な魚種としては、ボラ、マハゼ、ワカサギ、カレイ（イシガレイ、マコガレイ）、クロダイ、スズキ、アカエイなどが挙げられる。

エビ、貝類については、宮地（1962）、島根県（1979）、環境庁（1987）の記録が主なものである。エビ類については16種の生息が報告されており、特にヨシエビ、クルマエビが主要な漁業対象

種である。貝類については48種の生息が報告されているが、この内アサリは年間200～300トンの漁獲がある。かつては、サルボウ、カキの漁獲が多く、中海の特産物にもなっていたほどであったが、現在ではわずかに生息しているにすぎない。

カニ類については、過去の記録がないが、ガザミ、モクズガニの生息が聞き取りによって確認された。